



# 照明探偵団通信

vol. 91 Shomei Tanteidan Tsu-shin

## ナイトウォッチングツアー in 阿智村

2018.0 7.21-22 本多由実 + 黄思濠 + 東悟子

昨年の八丈島上空でのUターンの雪辱を果たすべく計画したツアー。日本一星が美しく見える村に選ばれた長野県阿智村へ東京からバスを貸切ったのツアーとなりました。参加者15名で夏の星と太陽を満喫してきました。



ヘブンスそのはらで星空観賞を待つ

### ■観光資源となる星空

今回の目的地「阿智村の星空ツアー」は、愛知万博頃までは盛況であった風神温泉に観光客を呼び戻すため、スキー場の夏季活用と合わせて考案されたもの。5年ほど前に村民が手探りで始めたイベントが、今は1年通じて多くの人々が訪れる名物となっていると、行きのバスの中で興味深い記事を読みながら、団員一同は東京から長野県西部まで向かいました。

昼には天竜川の川下りをし、温泉と夕食を楽しみ、お酒も少し入った後で、メインイベントの星空観賞に出発です。星空観賞の会場は、山々に囲まれたスキーゲレンデ「ヘブンスそのはら」。青い照明で宇宙ステーションのような雰囲気のある乗り場から乗り込むゴンドラは消灯され真っ暗、そのまま15分ほど黒々とした森の中、山頂まで2.5kmを移動します。予想以上に町から離れているので、徐々に街の明かりは届かなくなりました。

山頂につくと、すでに多くの人が芝生に陣取って



月明りが強く明るい夜空でも、都会とは大違いの星の数でした

います。探偵団メンバーも緩やかな傾斜に寝転んでスタンバイ、消灯を待ちます。22時15分になると、係員のアナウンスにより、目をつむりながら皆でカウントダウン。(投光器消灯)

目を開けると小さな星々が一面に広がり、感嘆の声があちらこちらから上がりました。星々の光は奥行きをもって重なり、月の光と相まって夜空全体がうっすらと明るく見えます。上弦を過ぎた明るい月夜で、たまに夜霧はかかるものの、小さな星々が頭上に広がる様子は見飽きないものでした。霧か薄雲かと思われた白い帯が天の川。多くの星々が見えるなかでも特に明るい星々は有名な星座のもの。はくちょう座をはじめとする夏の星座たちも十分に見えました。空自体が明るいので、星や月の光で歩くのに不便は無い明るさですが、照度計の数値は0.02lxと満月の0.2lxより格段に低い数値でした。

レーザーポインターを使って夏の大三角形など星座の紹介をうけ、音楽を聴きながら星空をながめあつという間の15分、まだまだ見ていたのですが投光器が点灯され、お開きとなりました。下山したのは23時過ぎという夜中の観光ですが、老若男女1500人を超える人々が星空を求めて集まっていました。

明治維新からわずか150年、それ以前では賑わう町なかでも普通にこのような星空が見えていたことを思うと、うらやましくなりました。夜景名所は様々な箇所にできていますが、星空名所を新たに作るのは難しいことと思います。このような場所が減らないように、気をつけて光を扱っていきたいと思います。

### ■昔ながらの町並みと光

翌日は中山道の宿場町、妻籠宿にて家並みの成り立ちや歴史、建物の特徴などをユーモアな案内人の方に詳しく教えてもらいながら散策しました。妻籠宿は日本初の重要伝統的建造物群保存地区。一見同じように見える中でも建てられた年代によって階高や前庭の違いがあること、敵をふせぐために不自然に曲がった道路など、面白い工夫が多くありました。

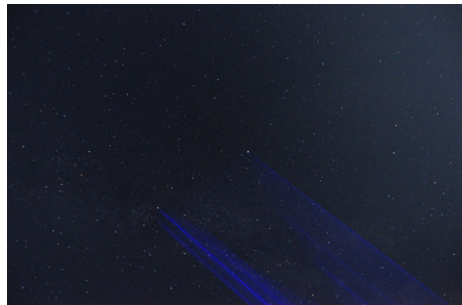
カラッと晴れた夏空が似合う、山の中の素朴な町並み。のどかな町に見えながらも、そこには殿様に対する決まり事やしきたりがあり、当時の身分階級の厳しさを物語っていました。内部を見学した脇本陣でも、囲炉裏端に座る位置は家族の中での親子・男女・姑嫁という上下関係によって決まるという、日本の「家」における家長というしきたりの厳格さを目の当たりにしました。

また、日本家屋ならではの屋光の取り入れ方にも感嘆するばかり。秋～冬には座敷正面の高窓から格子ごしにシャワーのように光が挿し、冬至にのみ囲炉裏まで達するそうです。写真を見せただけでしたが、囲炉裏の煙によって光線がくっきり見えとても幻想的でした。

最後に赤沢自然休養林で木曾ヒノキの天然林の中



山頂で寝転がって待機する人々



レーザーポインターを使っての星の解説



中山道42番目の宿場の妻籠宿。山の中ならではの、木で葺いて置き石でとめている屋根



脇本陣の囲炉裏端と高窓。手前が家長の座



ノスタルジックな街並み



天竜川下り 日差しは強いが川面近くは涼しく気持ちいい



赤沢休養林にて森林浴 マイナスイオン!

を走るトロッコ列車に乗り、木漏れ日が美しくヒノキの香り漂う森林の中の散歩を楽しみました。

3年前は火祭りで火の勢いと人々の熱気を体感し、今回は川下り・星空観賞・歴史ツアー・森林散策と自然多めで五感を刺激してきたツアーでした。また色々な光を求めて団員でツアーできればと楽しみます。通信で見つらい星空写真はInstagramでもご覧いただけますので、是非こちらもご確認ください。(本多由実 黄思濛 東悟子)

インスタ: <https://www.instagram.com/lightingdetectives/>



思わず重心に帰る団員達

# 照明探偵団 Jr. 夏休みワークショップ

夜の街に出て、光の英雄と犯罪者を探そう！

2018.07.26 東悟子

記録的な猛暑の東京で照明探偵団 Jr. のワークショップを  
夕暮に開催しました。

元氣溢れる子ども達 24 名とその保護者で表参道&キャ  
ットストリート界隈で光の英雄と犯罪者探しを行いました。



総勢 49 名参加してのにぎやかなワークショップになりました

夏休みが始まったばかりの 7 月末、LPA の会議室  
は子ども達でいっぱい。街歩きワークショップ  
3 年ぶりの開催に定員 15 名のところ 24 名もの  
小学 1 年生から中学 3 年生までの子ども達が集ま  
ってくれました。

照明についてあまり考えたことがない子ども達に、  
いかに興味を持ってもらい、また何を学んでいっ  
てもらおうかをスタッフと話し合い、次のことをタ  
ーゲットにしてワークショップを行いました。

- 1、光のことを知ろう
- 2、街のあかりを観察してみよう
- 3、光の英雄と犯罪者を探してみよう
- 4、どうして英雄 OR 犯罪者なのか考えてみよう
- 5、他の人はどう思ったのか意見交換してみよう
- 6、どうすれば犯罪者がよくなるか考えてみよう

## ■オリエンテーション

まずは面出団長が照明の基本を説明。火から始まる  
照明の歴史や色温度の違いが人にもたらす影響、  
日本と海外の住宅における照明の位置の違いなど  
を簡単に解説しました。その後、街はどのような  
あかりで構成されているか、光の英雄と犯罪者は  
どういうことを指すのかを紹介し街歩きに出発し  
ました。

## ■街歩き

子ども達は 5 班に分かれ、それぞれの班で英雄と  
犯罪者探しをスタートしました。

### ① A 班

A 班は全員が小学校低学年のグループ。目に入る  
ものに対し、純粋に好き / 嫌いといった意見が飛



オリエンテーションの様子



街歩きで意見を言いあう子ども達



道端の照度を計測

び交います。子ども達の観察方法は、興味を惹く  
ものを発見すると一目散に走って行き、近くでま  
じまじと観察したり触ったりしながら意見を言い  
ます。A 班で 1 番の英雄に選ばれたのはカラフル  
に色が変わるカフェ看板。他にもカラー照明のも  
のはありましたが、これは看板の裏側の壁が照ら  
され切り文字が透けて見えるデザインで、「いろい  
ろな色に変わって面白い」「おしゃれ」などの意見  
が出ました。その他の英雄は白く面発光する看板  
やガス灯風の街路灯が「目に優しい」との渋い意  
見で選ばれていました。犯罪者に選ばれたものは



ふたつ並ぶ自動販売機も照明が違うと販売意欲が変わることを発見  
直接光のものが多く、まぶしいスポットライトは  
もとより電球がたくさん付いた看板は子ども達に  
嫌いとい蹴られていました。

今回子ども達と歩き気づいたことは、大人は経験  
でまぶしいことを予測すると目を背けますが、こ  
どもは近付いて観察し、その場で感じたことを意  
見するというです。大人になり街中にあふれた  
光の犯罪者を見て見ぬふりが出来るようになって  
いることに気付き反省させられました。(木村光)

### ② B 班

B 班はキラキラ・ギラギラをキーワードに街歩き

をしました。一番の英雄として選ばれたのはレストランの入り口の木のイルミネーション。イルミネーションといっても派手なものではなく、電球色で粒も小さく上品な印象があり、通りのイメージにも合う光として全員一致で英雄。他にも間接照明を用いた看板照明も評価が高く、キャットストリートには落ち着いた光が合うという意見がよく聞かれました。その中で、意見が大きく割れたものが、カラフルなネオン管で彩られたお店のファサード照明。決して落ち着いた光ではなく、赤やピンクなど鮮やかな色が多く用いられていましたが、こうした賑やかな光も好きという意見とキャットストリートには合わないという意見が対立してしまい決着がつかず、時間切れとなってしまいました。道路鉈や看板照明に使用されている赤い光については、不気味な印象で怖いという意見が多く、犯罪者として選ばれました。(荒木友里)

### ③ C 班

C 班は全員が中学生で、一番年上のグループ。わいわいにぎやかな他の班を横目に落ち着いた様子はさすが中学生といったところでした。

初めに足が止まったのは、頂部にドーナツ型の導光板が付き、その下に路上をまぶしく照らす照明が付いたポール灯でした。こども達からはせつかくのドーナツ型の光を下のまぶしい照明が邪魔してしまっているとの声があがり、下の照明は周りのお店が明るいからそんなに明るくなくても良いと鋭い意見も。

足を進めると安藤忠雄氏の建築にこども達の目が留まります。黒い外観に白く光る GALAXY の文字とブルーライトのラインがスタイリッシュで、こども達にも好評でした。

Dior 表参道のビルは光の雫が滴れているようなファサードがとても綺麗だったと好評で、1 番の英雄となりました。

伊東塾の出身者が多いこともあり、建築と光をセットにして興味を持つことも多く、英雄にあげたのはいずれも建築と調和した光でした。逆に光の主張が強すぎるサイン照明やインテリアの光は犯罪者として挙げられました。(高橋翔作)

### ④ D 班

D 班はひとつの照明にみんなが積極的に沢山の意見を出し、歩いている道のお店や街灯の照明だけでなく、あまり目に付かないビルの一室や、かなり遠くにあるビルの階段の照明についても意見を挙げてくれて、年上の子を中心に色々な照明と比較したりして、沢山の照明について話し合うことができました。眩しく明るい照明が犯罪者だという意見は一致していましたが、その他は女子と男子によって意見が違うことが多く、話し合いをしても意見は違わずでした。(神田愛子)

### ⑤ E 班

E 班は最年少グループ。終始ワイワイ賑やかで、



多くの班が英雄にあげたサインが浮かび上がる照明 光の滴が流れる演出が好評 派手でない上品な木のイルミネーションが英雄に



上部のやさらかな光が下の強烈なクリアで台無しということで犯罪者に 営業中点灯しているサインは犯罪者 閉店後サインが消灯し店からのあかりでシルエットになればOK ビル全面が発光しておりまぶしすぎて犯罪者に



英雄と犯罪者で意見が割れたネオンサイン



班に分かれてポスターを作成



作成したポスターを使い街歩きのままの発表



他の班の意見にも耳を傾けるこども達

積極的でした。小さな子ほど、自分の意見をきちんと述べて色々な光に興味津々の様子。年齢が低かったせいか、自分の意見を言い終わったらすぐ興味が次の場所に移ってしまい、置いてきぼりになる子も。それだけ意欲的に参加してくれていたのですが、大人は追いかけるのに必死!

最初は英雄があまり探せなかったのですが、お客さんをお呼び込むための光やきれいだと思う光は「英雄」かな、とちょっと大人からアドバイスをするとこども達も納得。英雄をいくつも挙げてくれました。また「肝心の店名の文字に光があたっていないから、サインの役割を果たしていない」と小さいながらも鋭い意見も飛び交いました。(畢雲)

### ■ポスター作成&発表

街歩きから戻った後はまとめのポスター作り。班

ごとに見つけてきた英雄と犯罪者に順位を付けます。どの班もすんなり決まらず予想していたより長い時間かけての作成となりました。話し合いが決裂し、男女で別々の順位を付けた班も。班毎に別行動であったにも関わらず、多くの班が同じ英雄や犯罪者を挙げていたのは興味深かったです。

### ■感想

毎回新たな発見がある探偵団 Jr. の街歩きですが、今回は意見の豊富さに驚きました。お互い遠慮して意見を言わないのではないかという心配をよそに、意見が多すぎてまとまらないという、うれしい結果になりました。

作成したポスターは探偵団HPにアップさせていただきますので、是非ご覧ください。(東悟子)

【照明探偵団の活動は以下の 19 社にご協賛頂いております。】

ルートロンアスカ株式会社  
ウシオライティング株式会社  
岩崎電気株式会社  
カラーキネティクス・ジャパン株式会社  
株式会社遠藤照明  
パナソニック株式会社  
ERCO / ライトアンドリヒト株式会社  
大光電機株式会社  
株式会社 Modulex  
コイズミ照明株式会社  
株式会社 YAMAGIWA  
東芝ライテック株式会社  
マーチンプロフェッショナルジャパン株式会社  
トキ・コーポレーション株式会社  
湘南工作販売株式会社  
山田照明株式会社  
ルイスポールセン ジャパン株式会社  
DN ライティング株式会社  
三菱電機照明株式会社



探偵団通信に関してのご意見・ご感想等随時受付中です！

お気軽に事務局までご連絡ください。